

## 研修アンケート

主催者名	小林市地域包括支援センター
ご担当者氏名	前田隆一

※研修期間： 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月の研修についてお尋ねします。

	研修日	研修タイトル
第 1 回目：	11 月 14 日	支援困難ケースとケアマネジャーの対応～整理の仕方と「距離感」の取り方
第 2 回目：		
第 3 回目：		

### 1. 今回のテーマを選ばれた理由をお聞かせください。

事前に当市のケアマネジャーにアンケート調査を行い、一番リクエストの多かったこのテーマに決まりました。

### 2. 研修を終えて、改善された内容はどのようなことですか？

支援困難事例のどこが支援困難なのか、その要因を分析できるようになりました。また、そのことでどこにアプローチすればよいかが明確になりました。

### 3. 研修会を通して受講者の方々がどのように変化しましたか？

研修を受ける前と後で、受講者の変化やエピソードがあれば教えてください。

アンケートから～「日々の援助の中で身につまされる内容が多い。今一度自分を振り返ってみるよい機会となりました。」「目からウロコでした。」「現在抱えている事例でお金、ゴミに関することが多いため、行き詰っていましたが、何も出来ないわけではないのでできることを尊重し、他の方向から見つめなおしていこうと思います。男と女の気持ちの違いや男性介護者の視点を学び、利用者さんを思い浮かべると『そうだー』と思い当たります。自分の言葉使いや笑顔もどうかと考えさせられました。」

**4. 今後、ケアタウン総合研究所に依頼する研修及び高室成幸が提供する研修内容についてご希望、ご意見等あればお聞かせください。**

今年度もまた研修をお願いしたいと考えています。ケアマネジャー対象で、テーマはまた希望が多かったものだと思います。

また、新しい生活支援事業に関連しての研修も企画出来ないかと考えています。

それから、先生の研修会では研修も内容豊富ですが、研修以外でのご助言ご提案もとても有益です。今回も終了後懇親会の席上いろいろなご提案を頂き、その中から皆で話し合う中で、内容が膨らんで認知症のご本人とともに田植えから稲刈りまで行い、できた米を「オレンジ米」として認知症についての意識啓発のためにそうした説明を含むラベルを貼って販売するというプロジェクト発足に至りました。

先生ありがとうございました。

